

橘処理センター建設工事に関する説明会議事録

日 時 令和4年8月6日（土） 9時00分 ～ 11時45分

場 所 川崎市民プラザ 2階セミナールーム

説明資料【橘処理センター建設工事住民説明会】に基づき、橘処理センター建設工事の概要及び工事状況、工期延伸、作業時間について市職員から説明。

【質疑応答】

住 民： 煙突の高さは、旧施設と比べて高いと思うのですが、旧施設との差を教えてください。また、地震対策について教えてください。

市 職 員： 煙突の高さについては、旧施設と変わりません。
次に、耐震について建築基準法に基づき設計しております。稀に発生する震度5強では損傷なく構造を維持でき、極稀に発生する震度6、7では、倒壊しないように構造計算をしています。

住 民： 市民プラザのお風呂はいつ再開されるのでしょうか。
市民プラザの受付の方から、工事が終わらないと再開できないと言われたのですが、建設工事と関係があるのでしょうか。

市 職 員： 旧施設が停止する前は橘処理センターから蒸気を送り温水プールやお風呂を稼働していましたが、橘処理センターの停止に伴い、市民プラザにボイラーを設置して温水プールやお風呂を使用できるように整備しています。
市民プラザのホームページによると、コロナウイルス感染拡大防止のため浴室の使用を中止すると掲載されているので、関係部署に確認して後日正確に回答させていただきます。

住 民： 煙突について2点質問があります。煙突から出る排ガスや臭気は、気象条件等によっては流れてくるのでしょうか。
また、子供が煙突を怖がっていますが、煙突の外観は今の状態で完成なのでしょうか。

市 職 員： 煙突から出る排ガスについてですが、法規制上の基準値内で且つ橘処理センター独自の基準を定めて管理します。また、煙突を高くすることで、上空で拡散させています。
なお、冬に煙突から白い煙が出る可能性がありますが、これは外気と排ガスの温度差によって水蒸気が発生して白く見えるものです。

- 市職員： 煙突の外観についてですが、今後コンクリート部分の塗装を実施します。塗装色については、近隣の小学校の生徒や市民の方からの投票により決定しています。
- 市職員： 排ガスについて補足します。
排ガスの基準値を決定するにあたり、近隣の都市を参考にして、最も厳しい基準値から更に20%削減した値を橘処理センターの自主基準値としており、国内でもトップクラスの厳しい基準となっています。
- 住民： 建設工事を始めるときに、重金属等の有害物質はどのくらい検出されたのでしょうか。
- 市職員： ダイオキシン等の有害物質が外部に出ないようにシート等で養生を行い、解体撤去工事を実施しました。解体撤去後、汚染土壌をすべて取り除く対策工事を実施しています。
その後2年間、地下水のモニタリング調査を行い、基準値内であることを確認しています。
- 住民： 埼玉県では、市民が焼却場に粗大ごみを持参すれば無料で処理していただけるということを聞きましたが、橘処理センターでは同様のことを考えていないのですか。
- 市職員： 川崎市では、市民の方から直接粗大ごみを受け入れるという取り組みは行っておらず、現在のところ、埼玉県と同様のことは考えておりません。